

## 三菱UFJ トピックスインデックスオープン

追加型投信／国内／株式／インデックス型

第19期末（2019年2月20日）	
基準価額	10,663円
純資産総額	14,625百万円
騰落率 (上昇率・下落率)	-6.9%
分配金合計	150円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

第19期（決算日：2019年2月20日）

作成対象期間

(2018年2月21日～2019年2月20日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマークである東証株価指数（TOPIX）と連動する投資成果をめざして運用を行っております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法＞

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
(受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 運用経過

## 当期中の基準価額等の推移について

(第19期：2018/2/21～2019/2/20)

基準価額の動き	基準価額は期首に比べ6.9%（分配金再投資ベース）の下落となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-8.5%）を1.6%上回りました。



- ・ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、東証株価指数（TOPIX）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
- ・ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- ・上記指数は、配当相当分を含まないインデックスです。このためファンドとベンチマークの騰落率との差異には、ベンチマークが配当相当分を含まない指数であることによって生じる「配当金要因」が含まれている点にご留意ください。

- ・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の主な変動要因

下落要因	米国長期金利上昇や景気後退懸念の台頭等による米国株式の下落等を受け、国内株式市況が下落したことが基準価額の下落要因となりました。
------	--

## 1万口当たりの費用明細

(2018年2月21日～2019年2月20日)

**i** 記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	79円	0.700%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(35)	(0.307)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(35)	(0.307)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(10)	(0.086)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	( 0)	(0.000)	
(先物・オプション)	( 0)	(0.001)	
(c) その他費用	0	0.000	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(その他)	( 0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	79	0.701	
期中の平均基準価額は、11,283円です。			

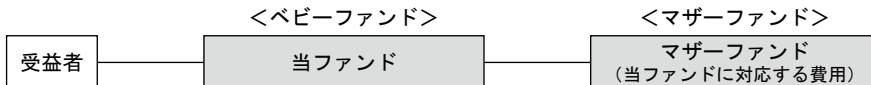
(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

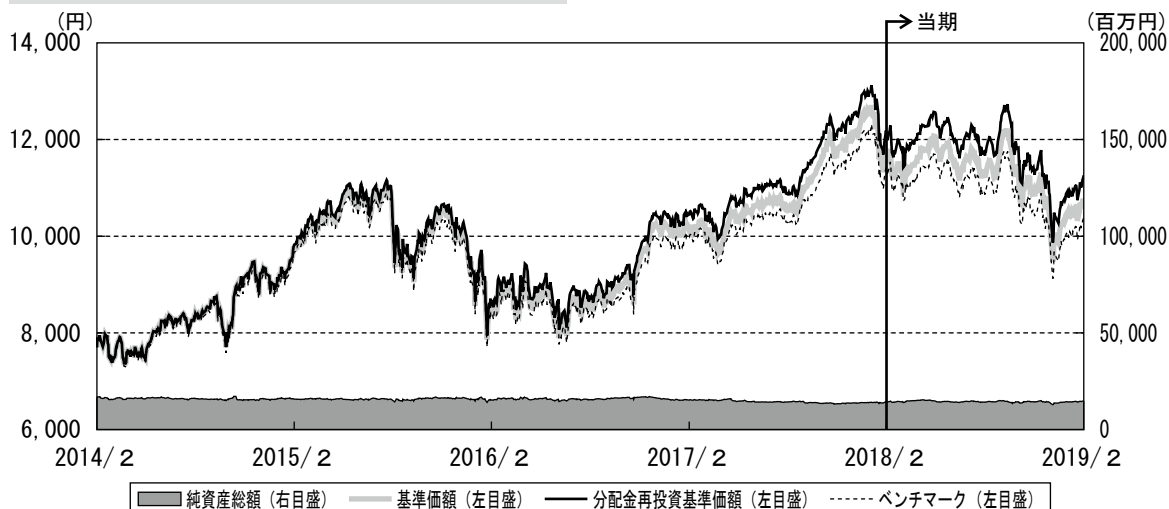
## 【費用開示の仕組み】

下記  部分の費用が費用明細に含まれています。



## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2014年2月20日～2019年2月20日)



・分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2014年2月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2014/2/20 期初	2015/2/20 決算日	2016/2/22 決算日	2017/2/20 決算日	2018/2/20 決算日	2019/2/20 決算日
基準価額 (円)	7,699	9,723	8,446	10,121	11,619	10,663
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	100	100	100	100	150
分配金再投資基準価額騰落率	—	27.6%	-12.1%	21.0%	15.8%	-6.9%
ベンチマーク騰落率	—	25.6%	-13.4%	19.0%	13.9%	-8.5%
純資産総額 (百万円)	16,470	15,714	15,253	15,229	14,216	14,625

・ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、東証株価指数 (TOPIX) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

## 投資環境について

(第19期：2018/2/21～2019/2/20)

## ◎国内株式市況

- ・米国長期金利上昇や景気後退懸念の台頭等による米国株式の下落や、国内企業の業績上方修正期待がしぼんだこと等を受け、国内株式市況は下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

## &lt;三菱UFJ トピックスインデックスオープン&gt;

- ・三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド受益証券にほぼ100%投資しています。このため基準価額はマザーファンドとほぼ同様の推移となりました。

## &lt;三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド&gt;

基準価額は期首に比べ6.4%の下落となりました。

- ・資産のほぼ全額を株式（先物を含む）に投資しました。
- ・株式ポートフォリオは、ベンチマークである東証株価指数（TOPIX）と業種別比率等がほぼ同様になるようにマルチファクターモデルを用いて構築しました。

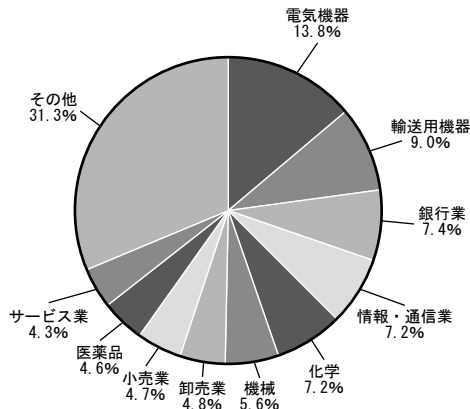
（注）マルチファクターモデル

株式市場の構造（動向）を、複数の要因（業種・企業規模等）に分類し、高度な統計手法を用いて説明をするモデル

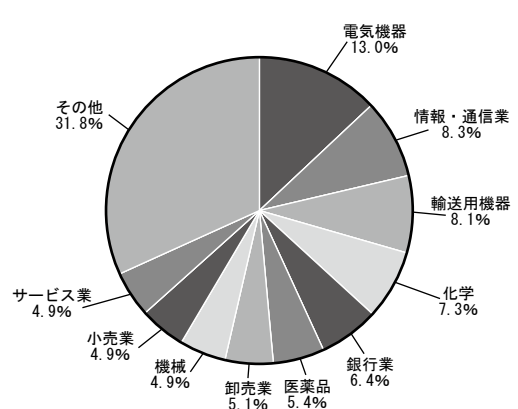
（ご参考）

## 組入上位10業種

期首（2018年2月20日）



期末（2019年2月20日）



（注）比率は現物株式評価額に対する割合です。

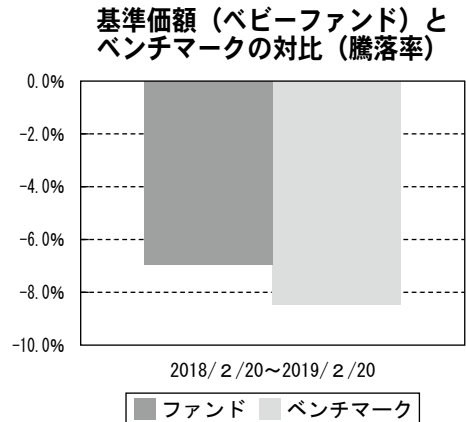
## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

**i** ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

＜三菱UFJ トピックスインドックスオープン＞  
ベンチマークとのカイ離は1.6%程度となりました。

◎マザーファンド保有以外の要因  
管理コスト等による影響は $\Delta 0.5\%$ 程度でした。

◎マザーファンド保有による要因  
マザーファンド保有による影響は $2.1\%$ 程度でした。



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算していません。

## ＜三菱UFJ トピックスインドックスマザーファンド＞

ベンチマークは8.5%の下落となったため、カイ離は2.1%程度となりました。  
ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・ 配当要因※ 2.2%
- ※ベンチマークが配当相当分を含まないインデックスであることによって生じるプラス要因です。

（主なマイナス要因）

- ・ 取引要因

## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第19期
	2018年2月21日～2019年2月20日
当期分配金	150
(対基準価額比率)	1.387%
当期の収益	150
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,369

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### <三菱UFJ トピックスインデックスオープン>

- ・三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

### <三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド>

- ・ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

## お知らせ

**i** 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

## ◎約款変更

- ・該当事項はありません。

## ◎その他

- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

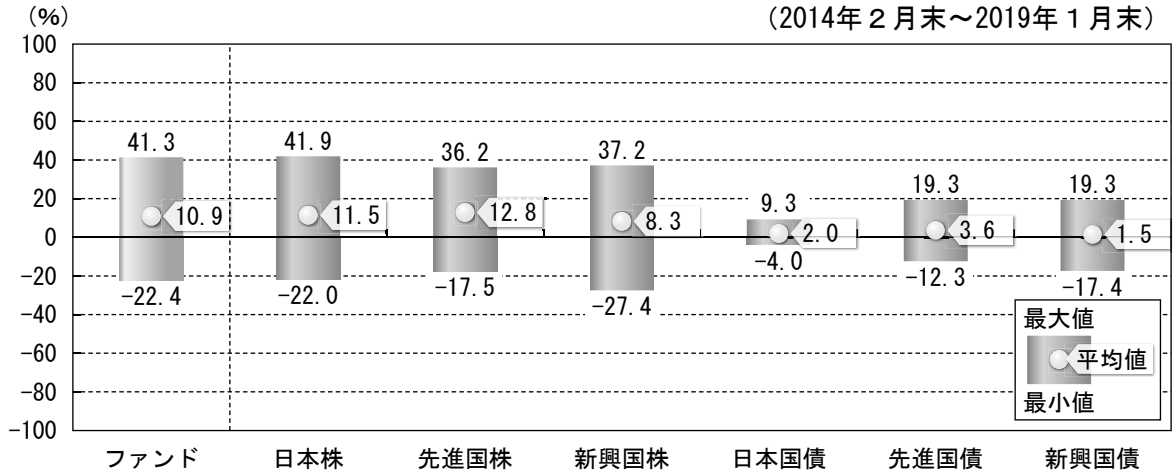
## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（2000年4月13日設定）	
運用方針	三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、東証株価指数（TOPIX）に連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、わが国の株式に投資することもあります。
	三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド	わが国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、わが国の株式の指標である東証株価指数（TOPIX）に連動する投資成果をめざします。	
分配方針	毎年1回決算（原則として2月20日。ただし、2月20日が休業日の場合は翌営業日とします。）を行い基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象収益等が少額の場合には分配を行わないこともあります。	



## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

**i** 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2014年2月から2019年1月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

### ○各資産クラスの指数

- 日本株：TOPIX（配当込み）
- 先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
- 新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
- 日本国債：NOMURA-BPI（国債）
- 先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）
- 新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 当該投資信託のデータ

### 当該投資信託の組入資産の内容

(2019年2月20日現在)

#### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第19期末 2019年2月20日
三菱UFJ トピックス インデックスマザーファンド	101.4%

- ・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

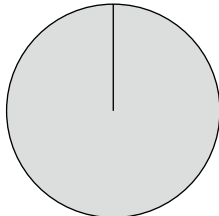
#### 純資産等

項目	第19期末 2019年2月20日
純資産総額	14,625,493,298円
受益権口数	13,715,936,763口
1万口当たり基準価額	10,663円

- ・ 当期中において  
追加設定元本は6,110,623,475円  
同解約元本は 4,629,716,687円です。

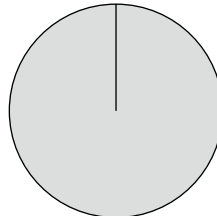
#### 種別構成等

##### 【資産別配分】



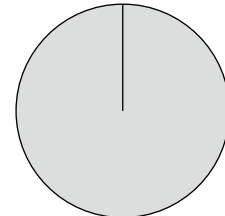
マザーファンド受益証券  
101.4%

##### 【国別配分】



日本  
101.4%

##### 【通貨別配分】



円  
101.4%

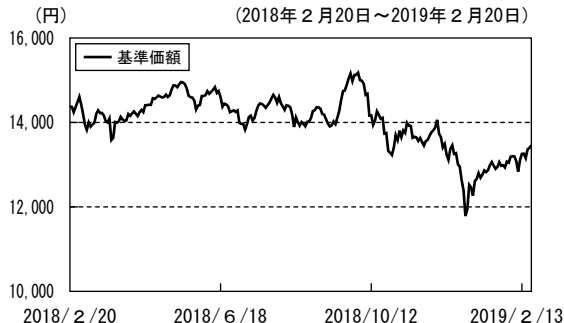
- ・ 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・ 【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

## 組入上位ファンドの概要

## 三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド

(2019年2月20日現在)

## 基準価額の推移



## 組入上位10銘柄

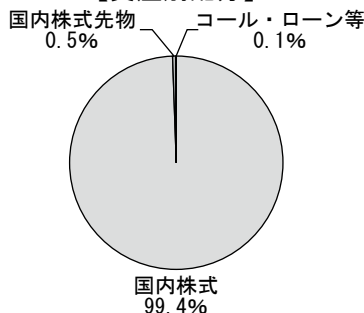
(組入銘柄数：2,102銘柄)

	銘柄	種類	国	業種／種別	比率
1	トヨタ自動車	株式	日本	輸送用機器	3.3%
2	ソフトバンクグループ	株式	日本	情報・通信業	1.8%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	株式	日本	銀行業	1.7%
4	ソニー	株式	日本	電気機器	1.5%
5	日本電信電話	株式	日本	情報・通信業	1.4%
6	キーエンス	株式	日本	電気機器	1.3%
7	武田薬品工業	株式	日本	医薬品	1.2%
8	三井住友フィナンシャルグループ	株式	日本	銀行業	1.2%
9	本田技研工業	株式	日本	輸送用機器	1.1%
10	みずほフィナンシャルグループ	株式	日本	銀行業	1.0%

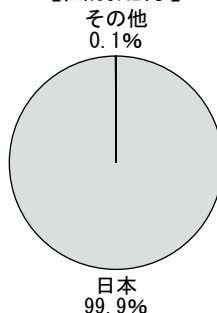
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

## 種別構成等

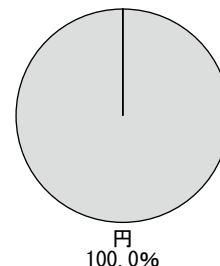
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

## 1万口当たりの費用明細

(2018年2月21日～2019年2月20日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	0円	0.001%
(株式)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
(b) その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、14,000円です。

- (注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

190053

## 指数に関して

### ○ファンドのベンチマークである『東証株価指数（TOPIX）』について

東証株価指数（TOPIX）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

#### MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

#### NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

#### FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキユリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキユリティーズ・エルエルシーに帰属します。